“ヒラメキ”からはじまる
企業ストーリー 83

世界中の人々へテクノロジーの恩恵を!!【(株)TRYWARP】

文 牛久保洋次 text by Yoji Ushikubo

【未常識】今は常識ではない、でも未来に常識となる事…これは私が作った造語です。

パソコンが使えない年齢層といえば、中高年というのが通り相場でした。パソコンを使う機会が少なかったため、当然といえるでしょう。しかし、最近はスマートフォンやタブレットの普及により、パソコンが使えない若者が急速に増えていることをご存じでしょうか。

スマートフォンは常に携帯できるデバイスのため、家や学校のコンピューター室でしか操作できないパソコンと違い、利用頻度が増え、利用時間も格段に長くなりました。また、操作に特別なスキルを必要としないため、インターネットを使い始める年齢層が非常に低くなってきております。

今回はスマホの普及でパソコンに触れたことがない新入生を在校生がサポートする、大学生向けパソコン支援サービスを展開中の【株式会社TRYWARP】をご紹介させていただきます。

大学に入学したら、卒業までの間に、レポート作成や提出、論文執筆、プレゼンテーション、数値分析といったさまざまな場面で、パソコンを使います。しかし、学生時代にパソコンを利用することはあっても、多少学んだだけでは使いこなせるようになりません。「新入社員はパソコンが使えて当たり前」の時代から「パソコンの使い方を知らないことが常識」である時代になりつつあります。新入社員にパソコンの使い方を一から教育することになれば、企業も大きな負担を抱えなければなりません。

TRYWARPでは大学生向けパソコン支援を独自の取り組みで展開しています。対象者は自身の大学の先輩スタッフから、3カ月の研修でパソコンとコミュニケーションのスキルおよび、レポート作成やオンライン授業の受け方など「先輩ならでは」の経験に基づく対応策を学びます。学生を支援する〝サポーター〟の条件は「後輩に寄り添う」こと。2022年春の大学生協主催のパソコン教室では32校に採用され、182人のサポーターが合わせて1万人に講義しました。

2022年10月からは、パソコン操作に関わる「困り事」を24時間365日、スマホから受け付ける新サービス「Skets」もスタートしました。

「修理の現場やパソコンスクールにつなぎ、地域のビジネスを活性化できたら」と事業拡張を図り、誰もがテクノロジーの恩恵を受けられるよう、障壁をなくすのが目標です。講習会だけでなく、パソコンのセットアップ、出張サポートなど、さまざまなサポート体制を提供しています。年間のべ3万人の新入生のサポートを実施しました。

同社ではテクノロジーに苦手意識を持つ多くの方に対して、あらゆる解決方法を生み出し、さまざまな苦手意識の解消を多面的にお手伝いしています。世界中の人々がわくわくしてテクノロジーの恩恵に預かるために、ちょっと先の明るい未来を提供し、一人一人の豊かな暮らしを支えています。

【パソコンの困ったを解決するアプリ「Skets」
～まるで聞き分けの良い息子～】
https://skets.fun

【株式会社TRYWARP ウェブサイト】
https://trywarp.co.jp

今月の一言

**テクノロジーの恩恵に預かりながら、
繋がりを育む
これが則ち【未常識の発見】**

Profile

慶應義塾大学商学部 卒業
株式会社友アンド愛（レコードレンタルビジネスの開発者）を創業し、代表取締役就任。約700店舗をFC展開する。株式会社ビザカリフォルニアを創業し、代表取締役就任。約400店舗をFC展開する。日本CDビデオレンタル商業組合 初代理事長（社）ニュービジネス協議会 理事等を歴任。
現在、株式会社いかしあい隊 会長、その他顧問数社。